

平成 26 年 12 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 26 年 8 月 20 日

会 社 名 株式会社ミック経済研究所
 本社所在都道府県 東京都
 本社所在地 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号 芝サンエスワカマツビル 10 階
 代表者 役職名 代表取締役社長 有賀 章
 問い合わせ先責任者 役職名 総務部次長 村井 則道 TEL (03) 5443-2991

1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期の業績（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。

2. 本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
26 年第 2 四半期	55,279	(12.4)	4,148	(-)	4,181	(-)
25 年第 2 四半期	49,162	(△16.4)	△8,136	(-)	△8,120	(-)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
26 年第 2 四半期	3,517	(-)	1,736 96	- -	3.3	3.6	7.5
25 年第 2 四半期	△8,424	(-)	△2,983 06	- -	△9.1	△7.6	△16.5

(注) 1. 期中平均発行済株式数 26 年第 2 四半期 2,025 株 25 年第 2 四半期 2,824 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産 額
	千円		千円		%	円 銭
26 年第 2 四半期	113,753	104,610	91.9	51,659	38	
25 年第 2 四半期	105,507	88,561	83.9	43,733	82	

(注) 期末発行済株式数 26 年第 2 四半期 2,025 株 25 年第 2 四半期 2,025 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
26年第2四半期	5,450	△1,688	575	90,107
25年第2四半期	△7,659	136	△70,664	82,497

2. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	112,500	4,000	3,000	—	—	—	—	—

(参考) 1株当たり予想当期純利益金額（通期） 1,481円48銭

(注) 1株当たり予想当期純利益金額(通期)は、第2四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

平成 26 年 8 月 20 日

第 24 期 第 2 四半期報告書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号
 芝サンエスワカマツビル 10 階
 電 話 番 号 03-5443-2991
 連 絡 者 総務部次長 村井 則道

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別			
	第 24 期 第 1 四半期 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	第 24 期 第 2 四半期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日
売 上 高	31,206	24,073	55,279	49,162
売 上 原 価	19,889	17,488	37,378	44,523
売 上 総 利 益	11,316	6,584	17,901	4,639
販売費及び一般管理費	7,545	6,207	13,753	12,776
営業利益又は損失(△)	3,770	377	4,148	△8,136
営 業 外 収 益	23	8	32	16
経常利益又は損失(△)	3,794	386	4,181	△8,120
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	3,794	386	4,181	△8,120
法人税・住民税及び事業税	618	45	663	304
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	3,175	341	3,517	△8,424

項 目	期 別			
	第 24 期 第 1 四半期 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	第 24 期 第 2 四半期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,824 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	1,568 円 35 銭	168 円 62 銭	1,736 円 96 銭	△2,983 円 06 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	－円－銭	－円－銭	－円－銭	－円－銭

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期別	第24期 第1四半期 自平成26年1月1日 至平成26年3月31日	第24期 第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	当期累計 自平成26年1月1日 至平成26年6月30日	前年同期累計 自平成25年1月1日 至平成25年6月30日
調査・出版事業	31,206	24,073	55,279	49,162
合計	31,206	24,073	55,279	49,162

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科目 \ 期別	第23期末 (平成25年12月31日現在)	第24期 第1四半期末 (平成26年3月31日現在)	第24期 第2四半期末 (平成26年6月30日現在)
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	85,770	85,796	90,107
2. 売掛金	11,404	18,305	14,041
3. 製品	573	433	1,031
4. 貯蔵品	91	90	143
5. 前払費用	1,358	1,208	1,177
6. 仮払税金	1,254	376	86
7. 短期繰延税金資産	575	—	—
8. 未収還付消費税等	50	—	—
9. 貸倒引当金	△68	△68	△68
流動資産合計	101,010	106,142	106,520
II 固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 工具器具備品	668	2,356	2,140
有形固定資産合計	668	2,356	2,140
2. 無形固定資産			
(1) 電話加入権	424	424	424
(2) 実用新案権	521	488	455
(3) 商標権	146	142	138
無形固定資産合計	1,092	1,055	1,018
3. 投資その他の資産			
(1) 敷金・保証金	2,210	2,210	2,210
(2) 長期繰延税金資産	1,863	1,863	1,863
投資その他の資産合計	4,073	4,073	4,073
固定資産合計	5,833	7,485	7,223
資産合計	106,843	113,628	113,753

期 別 科 目	第 23 期末 (平成 25 年 12 月 31 日現在)	第 24 期 第 1 四半期末 (平成 26 年 3 月 31 日現在)	第 24 期 第 2 四半期末 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
(負債の部)			
I 流 動 負 債			
1. 買 掛 金	326	1,253	952
2. 未 払 金	297	2,673	824
3. 未 払 費 用	2,743	1,923	1,861
4. 未 払 法 人 税 等	84	84	84
5. 未 払 消 費 税 等	—	1,089	2,511
6. 預 り 金	2,298	1,083	1,447
7. 未 払 配 当 金	0	0	0
8. 賞 与 引 当 金	—	1,251	1,372
流 動 負 債 合 計	5,751	9,359	9,055
負 債 合 計	5,751	9,359	9,055
(純資産の部)			
I 株 主 資 本			
1. 資 本 金	53,000	53,000	53,000
2. 資 本 剰 余 金 資 本 準 備 金	632	632	632
資 本 剰 余 金 合 計	632	632	632
3. 利 益 剰 余 金			
(1) 利 益 準 備 金	12,618	12,618	12,618
(2) そ の 他 利 益 剰 余 金			
別 途 積 立 金	15,000	15,000	15,000
繰 越 利 益 剰 余 金	19,842	23,018	23,360
利 益 剰 余 金 合 計	47,460	50,636	50,978
株 主 資 本 合 計	101,092	104,268	104,610
純 資 産 合 計	101,092	104,268	104,610
負 債 純 資 産 合 計	106,843	113,628	113,753

期 別 項 目	第 23 期末 (平成 25 年 12 月 31 日現在)	第 24 期 第 1 四半期末 (平成 26 年 3 月 31 日現在)	第 24 期 第 2 四半期末 (平成 26 年 6 月 30 日現在)
発 行 済 株 式 総 数	2,025 株	2,025 株	2,025 株
1 株 当 たり 純 資 産 額	49,922 円 42 銭	51,490 円 76 銭	51,659 円 38 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本						株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利 益 剰余金 合 計	
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	その他利益剰余金			
				別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金		
平成 26 年 1 月 1 日残高	53,000	632	12,618	15,000	19,842	47,460	101,092
第 1 四半期中の変動額							
第 1 四半期純利益	—	—	—	—	3,175	3,175	3,175
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	3,175	3,175	3,175
平成 26 年 3 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,018	50,636	104,268
第 2 四半期中の変動額							
第 2 四半期純利益	—	—	—	—	341	341	341
第 2 四半期中変動額合計	—	—	—	—	341	341	341
平成 26 年 6 月 30 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,360	50,978	104,610

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- | |
|---|
| 1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の 1/4 に相当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。
3. 金額の端数処理
千円未満の金額は切り捨てて表示しております。 |
|---|

なお、当第 2 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第24期 第2四半期（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）の業績の概況

2014年4-6月の国内景気は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動で個人消費が落ち込み、また、OSの製品サポート終了に伴うパソコンの駆け込み需要の反動などもあり、設備投資も減少しました。それらの結果、GDPは1.7%減と2013年1-3月以降続いてきた増勢傾向に歯止めがかかりました。

ただしながら当社のドメインとするICT分野においては、特に大手企業の業績が堅調に推移しており、上期累計で見通せば金融分野のシステム更改や、政府によるIT投資の予算執行前倒しなどがあり、プラス予測をしております。こうした背景から新商品開発ニーズや、新規分野開拓調査など先行投資型の調査案件が増え、ICT分野のマーケティング予算は伸びています。

しかし、作業スケジュール計画のズレとベテラン社員の療養退職など当社の特殊要因から、自社企画資料のタイトル数が前年同期の10タイトルから当四半期4タイトルと半分以下に減少しました。その結果、自社企画資料の売上は14,818千円、40.5%減の大幅減少となりました。前年同期は55.3%増と大幅に売上が伸び、その反動もあります。

一方、受託調査の売上につきましては、前年同期比2.43倍の9,255千円と大幅増加となりました。第1四半期と同様、前年に失った長期固定客の大型案件に替わるべき案件獲得の努力が1年掛りで実を結んできました。その背景には前述したような大手企業の先行投資があります。

これらの結果、当第2四半期の総売上高につきましては、24,073千円（対前年同期比16.2%減）、利益につきましては、営業利益377千円（前年同期営業利益4千円）、経常利益386千円（前年同期経常利益5千円）、四半期純利益341千円（前年同期純損失39千円）となりました。売上が二桁もの減少をしたにも係らず、営業利益は伸長し、採算ラインを僅かですが超えました。その主な理由は、従業員の減少と代表取締役社長の年俸33%カットを続けているからです。

III 第24期通期の売上高及び利益の予測について

第24期通期の売上高及び利益の予測につきましては、売上高は第23期本決算発表時点の112,500千円（前年比10.0%増）と変更ありません。利益につきましては経常利益4,000千円（前年比9,888千円増）、当期純利益3,000千円（前年比27.0%減）と第1四半期決算で修正した通りです。

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第24期 第1四半期	第24期 第2四半期
		〔自平成26年1月1日 至平成26年3月31日〕	〔自平成26年4月1日 至平成26年6月30日〕
現金及び預金の増減額		26	4,311
現金及び預金の四半期首残高		85,770	85,796
現金及び預金の四半期末残高		85,796	90,107

(主な増減理由)

売上債権4,264千円減少による増加、棚卸資産651千円増加による減少、未払金1,849千円減少による減少、未払消費税等1,422千円増加による増加、預り金364千円増加による増加が主な要因です。

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

(3) 長期借入金の増減

該当事項はありません。

V その他

該当事項はありません。